



ちーたんの[”] 知りたいな通信



「第3次丹波市総合計画」策定定期便

2023.06 Vol. 2

こんにちは、ちーたんだよ！読んでくれている人、ありがとう！
総合計画をつくるために、アンケートやワークショップをして、
たくさんの人たちに丹波市の未来について話し合ってもらったん
だって！ちーたん、知りたいなあ！



丹波市をもっと住みよいまちにするため、
アンケート調査を実施しました！

ちーたんの知りたいこと その①

だれにアンケートをしたの？

① 市民アンケート

18歳以上の市民（対象3,300人、回答1,229人）

② 高校生アンケート

市内の県立3校の高校生（対象1,019人、回答778人）

③ 小中学生アンケート

市内の中学生（対象1,556人、回答1,209人）

市内の小学校5・6年生（対象1,102人、回答1,027人）

④ 未来を描くアンケート（Web）

市民と丹波市に関わりのある方（回答211人）

ちーたんの知りたいこと その②

アンケートの結果を教えてください？

Q 丹波市は住みやすいですか？

	住みやすい	どちらかといえば住みやすい	合計
市民アンケート	21.0%	39.0%	60.0%
高校生アンケート	24.7%	34.1%	58.8%
小中学生アンケート	50.1%	28.9%	79.0%
未来を描くアンケート (WEBアンケート)	13.2%	37.9%	51.1%

Q 人口増加や活気あるまちづくりに向けて優先すべきことはなんですか？

市民アンケート	
第1位	医療や福祉が充実し、高齢者や障がい者、子どもが安心して暮らせるまち
第2位	バスや電車など公共交通が利用しやすいまち
第3位	若い人が住みやすく、にぎわいのあるまち
高校生アンケート	
第1位	バスや電車など公共交通が利用しやすいまち
第2位	デジタル技術を活用し、日常生活がより便利になったまち
第3位	豊かな森林や田園風景が守られたまち
小中学生アンケート	
第1位	豊かな森林や田園風景が守られたまち
第2位	事故や犯罪が少なく安全なまち
第3位	こどもが元気で、よく遊び・よく学べるまち

年齢によって、大事に思うことは違うんだね！
誰もが、住みやすいと思える丹波市でありたいな



丹波市の「今」や「将来」について語り合い、そして一緒に考える場として、ワークショップを開催しました！

ちーたんの知りたいこと その③

どんなワークショップをしたの？

★参加してくれた人★

- 丹波市に住んでいる人
 - 丹波市で働いている人
 - 丹波市の学校に通っている人
- 延べ129人

★開催期間★

- 令和5年
2月24日～3月23日
- 全5回開催

★みんなで考えたこと★

- 丹波市の強み・弱み
- 丹波市の将来・これからの目標



ちーたんの知りたいこと その④

ワークショップでどんな意見が出たの？

丹波市の強み

自然が多く、子どもたちへの予想できない学びがつけられるね

救急車が旧町ごとに待機しているよ

地区ごとにお祭りがあるわ

野菜がよく育って、有機栽培が盛んだね。野菜の種類も多いよ。

コワーキングスペース（色々な人たちが空間を共有しながら仕事を行う場所）など、新しい仕事をつくる場所があるね

丹波市の弱み

若い人が定住できない、帰ってこない状況があるな

子育て中の人々が、一人で悩みをかかえてしまいやすい環境があるわね

都会へ行かないと専門医療・高度医療が受けにくいな

動画コンテンツによるPRが乏しいと思うよ

働き手が不足しているね



目標（10年後に変わってほしいこと）

子どもを増やしたいね！
大学を誘致するのはどうかかな

農業者のコストや設備に関して負担を減らす！

新産業をおこしたり、企業を増やしていきたいね

医療に頼りすぎず、自ら健康になる考え方を持てたらなあ

河川付近を整備するのはどうか？サイクリングできたり、散歩道にしたり

若い人も参加できる地域づくりに力を入れていきたいね

せっかく市に医療センターがあるんだし、利用しやすく充実させたいね



他にも市内で活躍する団体さんに意見を聞いたりして、いろんな人が一緒になって、総合計画をつくっているんだよ
各調査の結果は市ホームページをチェック！

